



野の花と風薫る郷から…

PUBLIC INFORMATION

'95 NOVEMBER

11

広報

たかもり

THE NEWSPAPER OF TAKAMORI TOWN

No. 435

平成7年11月5日発行

秋深し



銀のススキ

毎年、秋の深まりをいち早く感じる高森の高原地帯。十月初旬、大字尾下原野一面に逆光に映えて、まばゆいばかりに銀色に輝くススキの穂が風に揺れていました。やがて目に鮮やかな真紅のモミジなど、山々は紅葉で彩られることでしょう。

高森町民憲章

1. 水と緑と土のにおい、いっぱいの住みよい町にします。
2. 伝統を重んじ、文化の薫る潤いのある町にします。
3. 老人を大切にし、子供の夢を育て幸せな町にします。
4. 勤労を尊び、産業を振興し活力のある町にします。
5. スポーツに親しみ、心身をきたえ健全な町にします。



■発行／高森町役場 ■編集／総務課 〒869-16 熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168番地 ☎09676-2-1111 FAX2-1174

開館一周年

心を新たにこれから頑張ります

高森温泉館職員一同



昨年十一月十日にオープンした高森温泉館が、おかげさまで開館一周年を迎えました。アルカリ性単純温泉、毎分二百五十リットルの湯量に好評をいただき、この一年間に四十二万人以上の、たくさんのお客様に来館いただきました。これからも皆様に愛され、親しまれる温泉館になるよう、努力してまいります。これから益々、温泉入浴に心地よい季節になってきます。皆様のお越しをお待ち申し上げます。

スポーツの秋

Sports

老いも若きも みんなでスポーツ



各地区の力を結集して

町民体育祭

10 / 10

大会の



疾走!

国民年金Q&A

受け取る年金の価値は？

A Q

私たちが加入している国民年金。実際に年金として受け取る時のお金の価値について説明してください。

現在の一万円というお金の価値は、三十年後に四千二百二十円、四十五年後には二千六百二十円になるというデータがあります。(これは毎年三%程度、物価が上昇するものとしての推計) これからすると実際に年金を受給する時にはその価値が下がるようですが、国民年金はその年の物価上昇率を勘案して保険料を決定します。皆さんが納められる保険料を増額するのはこのためです。

国が行う公的年金制度の国民年金。私たちの老後をバックアップする国民年金にご理解とご協力をお願いします。

◎国民年金のおたすねはお気怪にどうぞ。

町民福祉課 福祉係 国民年金担当
☎2・1111 内線130番



救急法講習会

家庭や職場など、あなたの身近なところで人命にかかわる応急手当が必要になったとき、役に立ちます。ぜひ受講ください。

(各コース、会場とも受講料無料で定員は30名。申込みはお早めに)

◇普通救命講習会

12月2日(土)午後1時から4時
消防本部会議室

◇上級救命講習会 南部地区

11月26日(日)午前8時半から午後5時半まで。(昼食各自持参)
白水村総合センター(白水村吉田)
問い合わせ・受講申込み

阿蘇広域消防本部
☎0967-34-0024

高森温泉館

温泉館の一年 (入館者数調べ)

年	月	入館者数(人)	累計(人)
平成6年	11	33,051	33,051
	12	30,701	63,752
平成7年	1	44,429	108,181
	2	29,729	137,910
	3	33,866	171,776
	4	34,267	206,043
	5	43,030	249,073
	6	27,365	276,438
	7	32,739	309,177
	8	55,815	364,992
	9	31,123	396,115
	10	31,119	427,234

1か月36,000人 1日1,200人のペース

10月からの集計

集計29日までの



入園児募集

学校法人高森幼稚園では平成八年度の新入園児を募集します。

恵まれた環境の中で「健康な体と豊かな心を育み、仲良く遊べる子どもを育てる」を目標として、地域に開かれた幼稚園として幼児教育を行っています。

■願書受付 十一月一日から
■募集年齢

- ◆三歳児 15名
H4/4/2から
H5/4/1生
- ◆四歳児 30名
H3/4/2から
H4/4/1生
- ◆五歳児 15名
H2/4/2から
H3/4/1生

■月曜から木曜まで、給食を実施しています。

■願書受付 十一月一日から

*入園願書と詳しいことの間い合わせはお気軽におたすねください。高森幼稚園事務局
☎20094番

自治大臣へファックス送って下さい。

国政、地方行政、行財政改革などに関する自由かつ建設的な意見をお送りください。

03・3581・6987

国税だより

11月11日から17日までは「税を知る週間」

税金は、私たち住民が豊かで安定した暮らしができるように、国や町が活動するための大切な財源です。「税を知る週間」は国民生活に深いかわりを持っている税について、その仕組みや使われ方などを、広く皆さんに正しく理解していただくために設けられているものです。

この社会 あなたの税がいきている

国の歳出予算 1万円当たりのゆくえは？

社会保障(福祉、年金、医療など)に	1,962円
国債費(国が借りたお金の支払)に	1,862円
県や市町村(補助事業など)に	1,862円
公共事業(住宅、道路づくりなど)に	1,302円
教育や文化振興(学校、科学など)に	856円
防衛(国を守る費用)に	665円
エネルギー対策に	96円

阿蘇税務署 ☎0967-22-0551

阿蘇の郷土料理コンテスト 作品募集

私たちの住む阿蘇には雄大な自然の恵みによるたくさんのおいしい食材があり、昔ながらの伝統料理・ふるさとの味が受け継がれています。次のとおり、郷土の料理を健康に役立てていただくために、郷土料理コンテストを開催しますので奮って応募ください。

申込みや詳しいことは:
☎869・23 阿蘇町内牧一二四〇 阿蘇保健所
☎0967・32・0535

◇応募資格 郡内に居住する個人や2〜3人のグループ
◇応募方法 役場保健衛生係へ応募用紙に一人分の作り方、材料を記入し、写真かイラストを添えて申し込んでください。◇費用 一人分二百円程度まで
◇応募期間 十二月一日(金)まで
◇作品部門 主食の部、惣菜の部、おやつや漬物の部
◎一人何点でも応募可。ただし、未発表のものに限る

顔・顔・顔



毎年大好評のウルトラクイズ。今年も難問、珍問続出で大人も子どもも楽しく参加しました。まだ問題の早い内にただ一人正解して優勝の自転車を獲得したのは岩下美智さん(色見)で、その時の問題は「平成11年に本町で開催される国体競技種目のテニスは軟式か硬式か?」でした。(正解は次ページ下段にあり。)





演題「あわてもの」のあらすじ (昭和55年第一回県素人にわかコンクールで優勝)

あわてものの夫婦が登場。妻は話の途中で急に産気づき、白衣を来た医者を呼ぶように言うが、あわてものの夫はマッサージ師を連れて来て一悶着。やっと見つけた医者に「これは手遅れ」と言われ、この夫はあわてて僧侶を呼びに行ってしまう。その間、無事子どもは生まれ、医者が帰ったところに僧侶を連れて来た夫が戻り、子どもの無事出産を喜ぶ。間違えて連れて来られた僧侶は「用はないから帰れ」と悪態をつかれ、医者が忘れていった腕時計を見つけ、お布施代わりにもらおうとする。そこへ医者が忘れた時計を捜しにやってきて、僧侶から取り戻そうとするがなかなか返そうとしないので、なぜ返さないかと問うと、「医者が手放しゃ坊主のもん」と話を落とした。
にわかには絶妙の「間」と即興のやり取りに面白味がある。

高森社中メンバー募集

いっしょに「高森にわか」を楽しみませんか？お気軽に連絡ください。

☎2-0396 馬原恵介(事務局)

メンバー紹介 桐原朗吉 三井康弘
立山広滋 丸野博憲 東 幸祐 石原伸也
菅原錦也 興相康弘 桐原市博 桐原 徹
広木富八 武田憲一 馬原恵介



肥後狂句

長 周

(阿蘇御神火会)

俳句

(野尻あけび句会)

薄紅葉庭の隅よりはじまりぬ
秋草の名を拾ひては又歩む
今朝の阿蘇早や冠霜の来たりけり
あと一つと決めて茹で栗食しけり
憂き事は書きてあきらめ秋時雨
紅葉もちちらら見えて日向路は
消えてゆく母校九月を忘れまじ
いのししの荒したるらし芋を掘る
豊の秋黄金の波に染まり行く

野尻 哲道
草村 鶴代
阿南 はじめ
甲斐 康利
熊谷 つ子
甲斐 しづ子
野尻 美穂
長友 たつ子
野尻 里女

熊川 豊泉
田上 黙子
林 不忘
堀田 蘇仙
馬原 馬笑
岡本 琴司
林田 一声
渡辺 雲海
浦塚 南天
松野 笑声



Poetry Page

平成6年度決算報告

文化の薫り高いまちづくりに

59億4550万3千円

財政状況公表

9月の第3回町議会定例会で平成6年度の一般会計や特別会計の決算が認定されました。一般会計と3つの特別会計(住宅新築資金等貸付金、鉄道経営対策事業基金特別会計、農業用水供給事業特別会計)による普通会計は、60億8004万円の収入に対し、59億4550万3千円の支出で、前年に対比して歳入で11.5%、歳出で11.3%の伸びとなりました。町では皆さんが納められた税金や、国からの地方交付税などを財源にして、地域の活性化や住民福祉の向上を目指して色々な事業をすすめてきました。

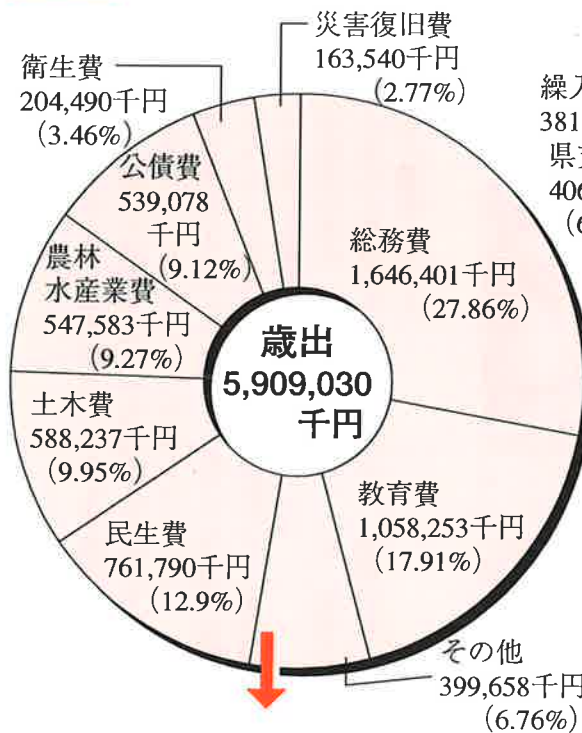
一般会計

歳出

59億903万70円

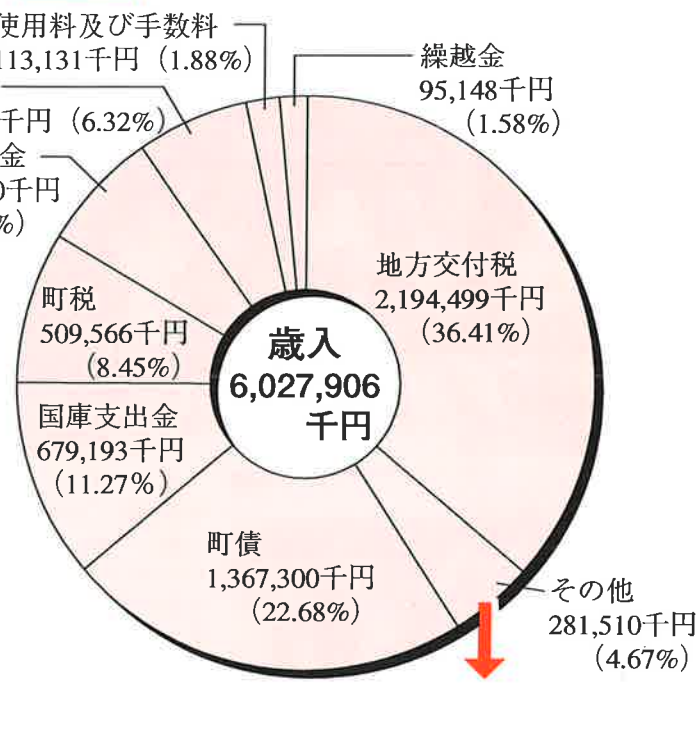
歳入

60億2790万6538円



歳出円グラフの「その他」の内訳

消費	防	費	144,777,470円
商	工	費	163,383,300円
議	会	費	91,497,010円



歳入円グラフの「その他」の内訳

地方譲与税	94,344,000円
分担金及び負担金	70,955,215円
交通安全対策特別交付金	1,456,000円
諸収入	16,061,066円
自動車取得税交付金	34,477,000円
財産収入	25,633,406円
ゴルフ場利用税交付金	18,530,498円
利子割交付金	18,291,000円
特別地方消費税交付金	369,000円
寄付金	1,393,150円

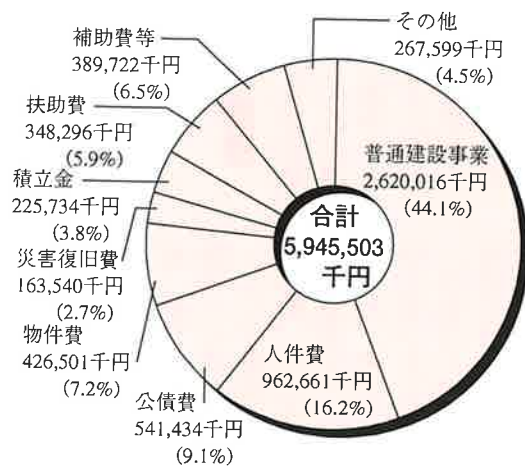
前ページの答

平成11年に高森で開催される国体の競技種目は？ 正解は「硬式テニス」でした。

町の家計簿公表

特別会計

国民健康保険	収入	870,999,264円
	支出	792,086,508円
簡易水道	収入	235,063,285円
	支出	231,944,554円
住宅新築資金等貸付金	収入	2,415,563円
	支出	2,360,190円
老人保健	収入	793,088,221円
	支出	791,434,621円
誘致工業用地取得及び用地造成事業	収入	38,193,444円
	支出	31,823,392円
鉄道経営対策事業基金	収入	21,451,316円
	支出	21,451,316円
農業用水供給事業	収入	37,453,589円
	支出	21,848,292円



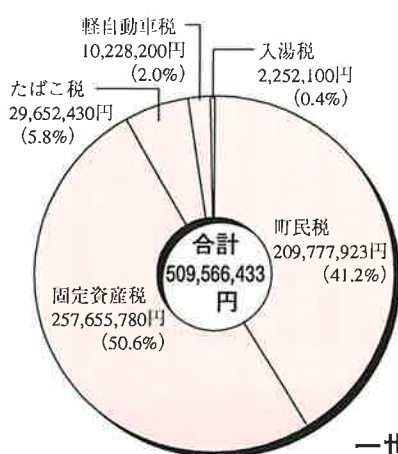
普通会計 性質別経費の状況

土地	建物	立木
11,481,118㎡	65,792㎡	121,275㎡
車両	基金	有価証券・出資金
26台	2,193,903千円	181,140千円

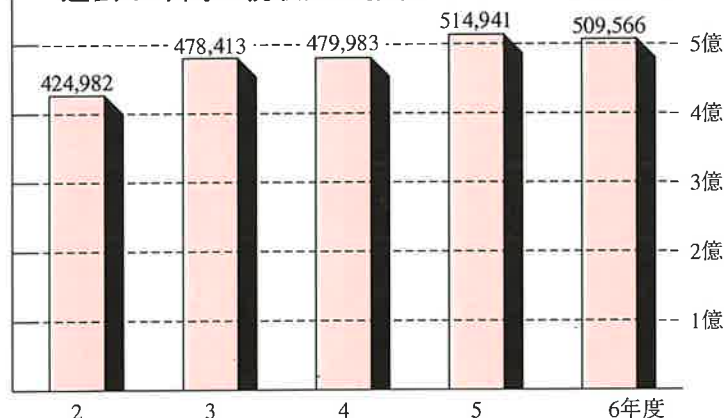
町有財産の状況

税収入の状況

税収入の項目別内訳



過去5年間の税収入の推移 (単位: 千円)



一世帯当たりの納税額 (2,549世帯)

軽自動車税
4,013円



たばこ税
11,633円



固定資産税
101,081円



町民税
82,298円



みんなのひろば

高森にわか 笑いで明るいまちづくり

高森社中 旗揚げ公演



会場は、終始大きな笑いの渦に包まれていました。

いつでも
どこでも
だれとでも
あなたの前に
高森にわか

風鎮祭になくはならない「高森にわか」。その興りは宝暦二年（一七五二年）に始まった風鎮祭の歴史とほぼ同じであろうと言われており、風鎮祭を盛り上げる青年達による、町内五つの「向上会」に代々引き継がれ、また、年を追う毎に新しい形を取り入れながら、今日まで延々と伝えられてきた町の偉大な文化です。

この高森にわかを「笑いで明るいまちづくり」と、高森にわかを愛する町内の若者グループが「高森社中」（代表桐原朗吉 団員十三名）を結成し、十月十四日（土）午後七時半から自主的な取り組みによる旗揚げ公演を行いました。

この日は町内はもちろん、高森にわかファンが熊本市などからたくさん訪れて、会場のヤマメ料理かすいで観客一体のライブ形式のなかを楽しみました。また、発足を祝って今村町長も出席。会場は和やかな大きな笑いに包まれていました。



高森社中には音楽グループ「ロング・ラン」もあり、観客のみなさんは60年代のロックなどの曲にウツトリ。

高森 Art & Handcraft 美術工芸展



今年も高森アート・アンド・ハンドクラフト展と題した美術工芸展が十月三日からの三日間、国民休暇村のセントラルロジで開催されました。

これは町内の陶芸、絵画、木工、染色、竹細工、皮工芸家など八名を含む十二名の工芸家のみなさんが、広く一般に美術工芸に親しんでもらおうと毎年行っているものです。

開催された三日間、本町のみなさん熊本市や他県からたくさんの方が訪れて、素晴らしい作品に見入っていました。

10月9日月曜日の早朝、㈱九州電工南阿蘇営業所（村上博行所長）と九州電力㈱の皆さんが、325号線バイパスで空き缶やゴミ拾いの清掃奉仕活動を行いました。これは同社の「さわやかコミュニティー旬間」の一環として行われたもので、皆さんは技術を活かし、これまでも福祉施設などで電気設備清掃ボランティアにも取り組まれてきました。



「収獲品」の一部を前にして

ボランティア「苦勞さまです

町の次代を担う青年たち 北海道で研修

南阿蘇六カ町村が一体となり、九月一日から八日まで勤務青年団の北海道研修が行われました。この研修は今年で二十一年目。今までの交流を活かしながら、互いに「ノウハウ」を学び合い、「自分自身の高まり」と町発展のために活かしていこうというものです。



渡辺 美也さん
(大字上色見・前原)

北海道研修で
農作業体験

本やテレビで見るたびに是非行きたいと思っていた北海道。今回この研修に参加して行くことができることになって、とても嬉しく思いました。飛行機で熊本から羽田、羽田から帯広へと向かい、帯広空港着陸前に見た広大な北海道の大地に、どこまでも続く畑と、その中にポツンポツンとある民家が見えたときは、「北

海道にきたんだ」という実感と、これからの体験への期待で胸がいっぱいになりました。空港に着き、バスで移動。話には聞いていましたが、本当にまっすぐで広い道が延々と続き、スケールの違いを感じながら、民泊受け入れ式の会場に到着し、受け入れていただく芽室町の工藤さんと対面。歓迎会を開いていただく会場へと向かいました。ここで最初の「北海道の味」を体験。トウモロコシや色々なご馳走をいただき、その風味など、何でも本場においしいと思いました。今までこの交流研修のことは全く知らなかったし、初めて会う方ばかりで緊張していましたが、にこやかで優しいお人柄が伺える工藤さんをはじめ優しい方ばかりで最初抱えていた不安と緊張は、いつ

の間にか消え去っていました。二日目は農業研修です。まずは初めて乳牛の乳搾りを体験。なかなか出ず、難しいと感じました。このときいただいた搾りたての牛乳の味は忘れられません。その後はジャガイモ掘り体験です。ふだん見る畑の何十倍という広大な畑とすがすがしい空気が心があらわれるようでした。北海道に着いたときから全てが感動の連続でしたが、この畑に立ったときの体験は一生忘れられない思い出となりました。色々な体験をさせていただきました。色々な体験をさせていただいた農家の方々にお礼を申し上げながら、午後はパークゴルフ交流会に参加しました。これはこちらで言う、グラウンドゴルフで、力が入りすぎて猛打賞をいただきました。夜は民泊の工藤さん宅で「ちゃんちゃん鍋」というカニ、ホッケ、ホタテなどの海の幸いっぱい鍋料理に舌づつみを打ちながら、熊本や高森のことを、農業や産業、私の温泉館の仕事のことなど、ゆつくりと色々な話もできて、とても良かったと思います。三日目は芽室町役場の方のご案内で、色々な所を見学さ

せていただきました。「ナイタイ高原牧場」の風景に阿蘇と似たものを感じました。あたり一面緑で広大な土地が、今でも目に焼き付いています。夜は今回研修に参加した南阿蘇の十五名が集まって離町式での出し物（お嫁サンバに合わせたダンス）の練習を行いました。この出し物の披露も交流の深まりにつながったような気がします。四日目の朝、民泊で大変お世話になった工藤さんのご家族にお別れするときには涙が出てきました。離町式が行われる新得町へと向かう車の中でも今回の民泊体験を振り返りながら「短かった」「楽しかった」と感じながら、お別れしなければならぬという寂しい思いでいっぱいでした。離町式では前夜に練習した私たちの出し物も無事終えることができ、皆さんからも喜んでいただきました。この後、南阿蘇の十五名でも有意義な北海道研修を行いました。民泊研修では日頃できない貴重な体験をさせていただき、皆さんの優しさと、楽しい日々を過ごさせていただいたことに本当に感謝しています。

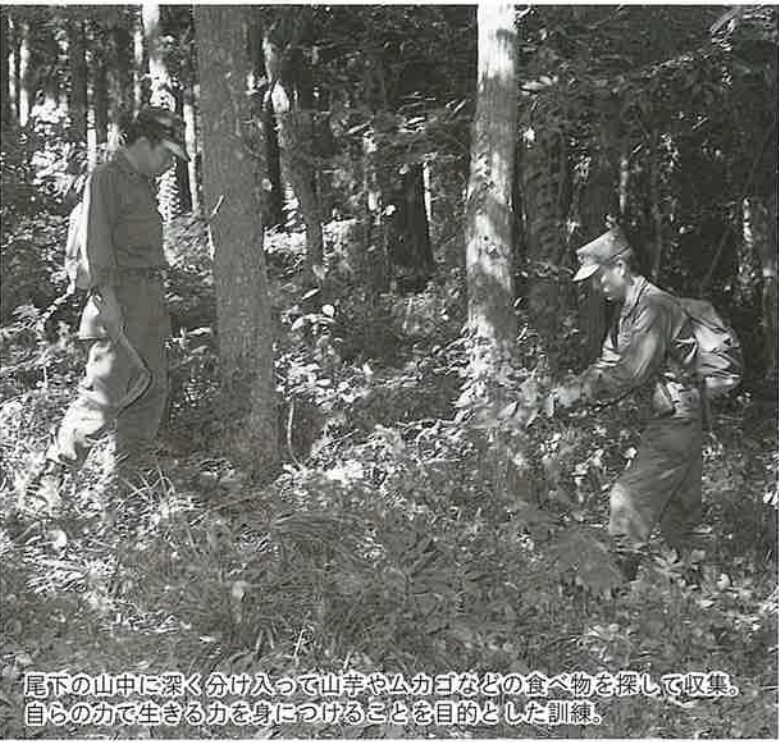
寒いとばかり思っていたが、好天に恵まれ、とても気持ちの良い気候で、すごく楽しかった北海道研修でした。実際に「見た・聞いた」体験から南阿蘇との違いと同じところも分かり、色々な面で大変勉強になり、この有意義な研修に参加させていただいたことに感謝しています。今後は今回の体験を仕事や色々な活動に活かしたいと思えますし、また絶対、北海道に行きたいと思いました。



地域と平和をする 自衛隊

尾下で生存自活訓練

10月11日
～13日



尾下の山中に深く分け入って山芋やムカゴなどの食べ物を探して収集。自らの力で生きる力を身につけることを目的とした訓練。



鶏の調理方法の説明（今回は鶏など8羽を持参）

● 自活について考える ●

（左下の記事に訓練目的を記載）陸上自衛隊、北熊本駐屯地第八師団、第八偵察隊（永田秀憲二等陸佐、隊員百二十名）の「生存自活訓練」が旧尾下小学校周辺で行われました。訓練では隊員の皆さんは山や大谷川周辺で山芋、ムカゴ、キノコ、川魚などの食料を苦労しながら収集していました。お金を出せば何でも買えるこの時代。私たちは食料自給について真剣に考えることはありません。危機管理」にも通じることですが、訓練を取材しながら、「自活」の重要性を考えさせられ、また、今の子どもたちの実体験が薄れていることを思い出しました。

高森出身者に聞く

尊い生命を守るため
自らを強く鍛える



私は入隊16年目。これまで北海道石狩などの部隊で勤務して、平成4年3月からこの隊に勤務し、人事や文書などの総務部門の仕事を担当しています。

今回、地元の皆さんのご理解とご協力と訓練ができたことに感謝しながら、故郷の山々での訓練であり、子どもの頃を思い出して懐かしく思っています。

あってはなりませんが、「有事」発生の際、私たちは最前線色々な情報を収集することが任務であり、食料など生活必需品補給に頼らず、自らが生きるための訓練を行うことは大切です。これは戦争に限らず災害派遣などとも言えることで、尊い生命を救うという大きな任務のためには、自らを強く鍛えなければなりません。私たちは平和を守ることが仕事で、災害時の対応など、地域と密着した活動をこれからも展開していきます。



手前 偵察警戒車 向こうは指揮通信車。ともに15t以上の重装備車両。 装備品展示



カリフォルニア州カーズバッド市庁舎内での会談風景。市長から「11月の訪問ではお世話になりました。高森について多方面の方に紹介しています」との話しがありました。

今村町長・後藤町議会議長ら カリフォルニア州を訪問



地元テレビ局による取材を受けた

町が目指す国際交流について

これまで町では様々な国と様々な国際交流を進めてきました。これは間近に迫ってきた「国際化時代」にいち早く対応して、町発展につなげようというものです。

このためには真の国際人にふさわしい心と精神を身につけなければなりません。それは異国の文化や文化に直接触れ親しむ中から、単純に比較するだけに留まらず、互いに違いを認め合い、尊重し合う中から、心を触れ合わせるといふ精神を学ぶことにあります。これは国際交流に役立つだけでなく、相手のことを思いやる人間としての優しさや道徳心の育成にもつながり、人権や家庭教育の根幹にも通じる大切なことです。

この点に主眼を置き、真の交流への足がかりを見つけようと、十月三日から九日まで、今村町長、後藤町議会議長、杉永文教厚生委員長らが、国際交流を進めているアメリカ、モンタナ州のカリフォルニア市を訪問し、今後の交流方法などについて協議を行いました。

今年一月、同市のダグラス・ラッソー市市長ご夫妻と経済開発団体代表のキャロル・デリー氏らが来町され、様々な交流が進められており、(本誌二月号で既報)今回の訪米の目的はこれを受けて、経済、文化、教育面などあらゆる面で、交流方法を模索しようというもので、協議内容の要旨は次のとおりです。

◎行政主導ではなく「官民一体」となった交流を目指す。

◎同市の交流についての関心は高く、特に林業関係機関(技術交流、市場や経営形態視察)と観光関係機関(相互交流)の関心が高かった。これにより、両行政機関が支援体制を整える必要性を確認し合いました。

渡米報告

交流への歩み 着実に一歩前進

今回の渡米の目的は全てに決定と合意をみるといったものではなく、「互いにムリ、ムダ、ムラを省き、永く交流を続けるためにどうしたら良いかを慎重に考える」言わば互いの基本姿勢を確認することを目的としたものですが、交流への歩みが、確実に一歩進んだことは事実です。

町ではこれからカリフォルニア市との具体的な交流施策について検討を始めます。交流方法などの建設的なご提案をぜひお寄せください。

教育委員会 社会教育係
2・1111 内線169番

第4回町議会臨時会



議会だより

Minutes from
town assembly meeting

十月十六日に町議会臨時会が開催され、次のとおり可決されました。

一般会計補正予算

土木費の工事請負費に五千八百五十万円、公共土木施設災害復旧費の工事請負費に三千六百五十七万一千円、農林水産業施設災害復旧費に一千二百六十三万三千円、一億三千三百八十七万円を増額補正して、五十億一千五百六十九万九千円の総予算となりました。

工事請負契約の締結について

高森東小学校プール建設工事契約を締結することについて議決されました。

工事内容 プール(FRP) 二九・九九平方m 付属棟 一〇・二五平方m 金額など、入札結果は十五ページをご覧ください。

町活性化研究会 活動報告



真剣に検討中の研究会のみなさん

「食」をテーマに「まちおこし」を考える

里イモなど在地種のほりおこし…地域興しにつなげる発想
11月11日に「イモモニタリング」大作戦開催

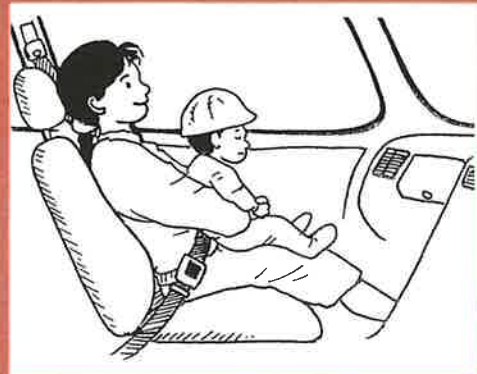
本誌7月号6ページで発足のお知らせをした町活性化研究会の皆さん(会員19名…愛称ジュークボックス)は、今年「食」をテーマにして、「まちおこし」につながる様々な活動に取り組んでいます。人間生活になくてはならない食生活。「食」は心や身体づくり、そして、ふるさとづくりにも通じ、町の教育、健康、産業振興、文化、自然にも深く関わりを持つもので、この会では「食」のテーマから最終的には他にない、在来種による「食おこし」を行うことを目的に活動を行っています。

11月11日(土)午前11時から「イモモニタリング大作戦」を開催します。これは、皆さんから広く、町活性化についてのアイデアを聴いたり、意見交換や交流により「まちおこし」の精神をお互いに高め合おうとするもので、その手始めに高森の「食」のイメージとして広く知られている田楽に使われる「里イモ」の普及啓発を図りながら、「発想の転換」精神を身につけようというものです。今後もこの会では「食」に限らず、町の発展に関わる様々なテーマに、真剣に取り組んでいきます。

お母さんの腕では
守りきれません

交通安全

Traffic
Safety



消防署だより
消防なんでも南部分署

十一月九日から十五日

秋期全国火災予防運動

災害に備えて日頃の
火の用心

- ◆火の用心七つのポイント
寝たばこや、たばこの投げ捨てをしない。
- ◆子どもの火遊び注意
風の強いときは焚き火をしない
- ◆天ぷらからの火災注意
家の周りに、燃えやすいものを置かない。
- ◆風呂の空焚きに注意
ストーブの近くに燃えやすいものを置かない。



阿蘇広域行政消防本部
南部分署 ☎2・9034

家庭教育

子どもたちの
すばらしい
未来のために

町の次代を担う子どもたちの健全な心と身体をつくるため、この広報では家庭教育の重要性をうったえ、様々な情報をお届けしています。

七月三十一日に開講し、五回にわたって行われた「すこやか子育て教室」(町と阿蘇保健所主催)の開講式が十月十七日にあり、心と身体全般にわたっての「子育て」方法のまとめが行われました。



9月26日開催の「親子で楽しく遊びましょう」から

子どもたちのより良い身体と心をつくるために

すこやか子育て教室「ワイワイ」座談会から

おとうさん 子育て手伝って!

お母さんたちの子育ての一番の悩みは「子育て疲れ」。毎日家事をしながらの育児、これは父親には想像を絶するものがあります。特に精神面の弊害が表れ、育児ノイローゼになるお母さんも多いと報告されています。「ちょっとだけでもいいんです。優しい声かけだけでもいいんです」：こんな声がこの教室最後の座談会でも聞かれました。毎日毎日育児に追われて自分を見失ってしまう：そんな時、子育ては妻の仕事と決めつけるのではなく、夫や家族が育児をフォローしてお母さんを「ホッ」とさせる体制づくりをすることが大切で、これがお母さんたちの新たな子育ての意欲に結びつくと、強く感じました。

子育ての悩みみんないっしょ

子育てへの関心は誰もが強く持つておられます。この教室に参加したお母さんたちも同じで、高い関心と大きな悩みを持つて参加されました。「どうしたら良いか悩んでいます」「子育てのセオリーは?」「叱ってばかりで自己嫌悪に陥っています」「上手な叱り方は?」「身体や成長段階の標準値が気になります」「私だけが子育てがうまくいっていない気がして心配です」などなど、子育ての悩みは尽きません。「みなさん同じ悩みがあると分かて救われました。」「子育てにはセオリーや標準値がないことが良く分かりました。」「こういう声が最後には聞かれ、無関心ではいけないが、子ども一人ひとりの個性に合わせた子育てが大切であることを確認されていました。」

一人で悩まずみんなで話そう

核家族化は、生活面などで気楽な面もありますが、人との触れ合いが少なくなること事態です。「近所に相談相手がいらない」：この教室の参加者に限らず、今の日本の家族形態は親子だけの生活というものが多く、子育ての悩みを母親一人で抱え込む危険性があるとも言えます。

悩み過ぎが発端となって表れる子育ての弊害も多く、子育ての悩みは一人で考え込むよりも、家族はもちろん、先輩、友人、県や町の育児専門カウンセラーに相談してアドバイスを受たり、こういった家庭教育講座や子育て教室に参加することも大切です。そんな中から自分に合った子育て方法がきつと見つかります。「人は人と接してながら成長していくもの」：子どもだけでなく、私たちおとなも社会と交わりながら成長していくものと言えましょう。



子育ては反復練習の繰り返し

「子育て：分かっているつもりですけど、実際は後悔することばかりですね。」「いいな」と思った子育て方法：すぐ忘れてしまいます。：こんな声も聞かれました。最初から子育てが上手な人はいません。もしも忘れても子育てに関心があれば思い出します。無関心は絶対問題ですが、少しずつ上手になっていくものだという事でしょう。

これだけは気をつけましょう

「子育てには決まった方法はない。：セオリーはない」といっても「これだけは気をつけて欲しい」というものがあります。それは子どもの生命に危険が及ぶときと、社会の秩序を乱すような行為があった場合はその場で強く対応しなければならぬということです。

もっとも学ぶべきですね

この教室で知り合った人たちの交流を深めながら、学んだことを忘れないで実践しよう、開講後も自分たちの力で、この会を続けていきたいとの話がありました。

今回のメンバーだけでなく、子育てに悩みを抱えるお母さんたちに広く呼びかけようという事になりました。



子育ての悩み みんな一緒に頑張りましょう!

子育ては家族みんなの仕事...みんなで力を合わせましょう

叱り方ってむずかしいですね

子育て教室 皆さんの声から

▼私が叱る(たたく)と、その子が下の子と同じように叱ります。弱い者に向かうようになってしまふんですね。(これがイジメの原点と言われています。)

▼他の子どもに見えないように、叱る子どもだけを叱っています。▼イライラして、どうしても叱ってしまう私。いつも自己嫌悪に陥っています。▼叱れば「ゴメンなさい」とすぐに謝りますが、ただ反射的に謝っているだけで、心から反省しているのではないようです。▼叱ったあらかのところで誉めることも大切。あるいは父親が叱ったら、母親が慰め諭すことが大切。子どもにも「逃げ場」を。

▼子どもの悪いところばかり目につく私。良いところにも目を向けたいと思います。▼叱り方にも愛情を!

(体罰と誉めるしつけ方については、本誌の昨年九月号をご覧ください。)

子育てに悩むお母さん 全員集合!

育児相談もどうぞ

11月下旬にもう一度集まっても、色々な運営方法を考えました。子育ての悩みをみんなでお話し合いませんか?子どもさんの年齢は問いません。希望される方は連絡ください。

町民福祉課 保健衛生係
2-1111 内線128番



高森風鎮太鼓 熱演
全国和太鼓コンクール

九月二十三、二十四日、石川県小松市で開催された「小松発ドンドンフェスティバル」に本町の風鎮太鼓が出演しました。この大会は全国から集まった五十の団体が演奏を競ういわば和太鼓のコンクールで、風鎮太鼓は予選を通過。熱演をたくさんの人に披露して、大きな喝采を受けました。

風鎮太鼓 女性メンバー募集

風鎮祭をはじめ、あらゆるところで活発な活動を行っている風鎮太鼓が、女性の和太鼓チームメンバーを募集しています。

和太鼓にあなたの情熱をぶつけてみませんか?

詳しいことは、佐藤栄美(エミ)さん ☎2-2348までおたずねください。

(男性メンバーも募集中)

高森町特産品コンクール出品募集

『ふるさとの味』と『アイデア作品』でまちおとし

わが家の一品料理や工芸品募集

農業ニュース

Agriculture News

- 使用材料は本町で生産している農林水産物(将来生産が可能なものも含む) 出品経費は自己負担
 - その他詳しい募集要領は地区回覧をご覧ください。
- 詳しいことは…

農業振興係 ☎2-1111 内線125番へ

- 作品受付日 11月23日(木) 勤労感謝の日
- 作品受付時間 午前8時から8時半まで
- 作品受付場所 高森温泉館
- 審査・表彰 当日審査して表彰します
- 応募対象者 本町在住の個人・グループ